

# 災害支援くしろネットワーク第34次隊

## 春の復興支援ボランティアバス 参加報告

5月1日から5月5日にかけて行われた災害支援くしろネットワーク主催の復興支援ボランティアに本校生徒8名が参加しました。避難解除準備区域となっている福島県南相馬市小高区にあるお宅の清掃作業を計42名で2日半かけ、させていただきました。作業をさせていただく中で、これまで見ていなかった、避難している方々の当時から今に至る大変さを知ることができました。今後、他校の生徒とも協力し、被災地支援と防災についての発信をしていきます。

このように参加する機会をくださった災害支援くしろネットワーク主催の皆様、支援してくださった多くの皆様に厚く感謝申し上げます。



除染作業後に出た廃棄物が積まれている光景が移動中に見えました。一見牧草地のように何も無い土地は、津波が来ている場所です。言われなければ空き地のように見える場所が、現在も海岸沿いに続いています。



当たり前にも身近にある光景ですが、人は住んでいません。これまで見たことのない状況を、それぞれの思いで、バスの中から見ました。



清掃するお宅の中から、全てのものを運び出します。あらゆる物を分別し、袋に詰めます。作業最終日は雨の中に行いましたが、しっかり体調管理もできました。

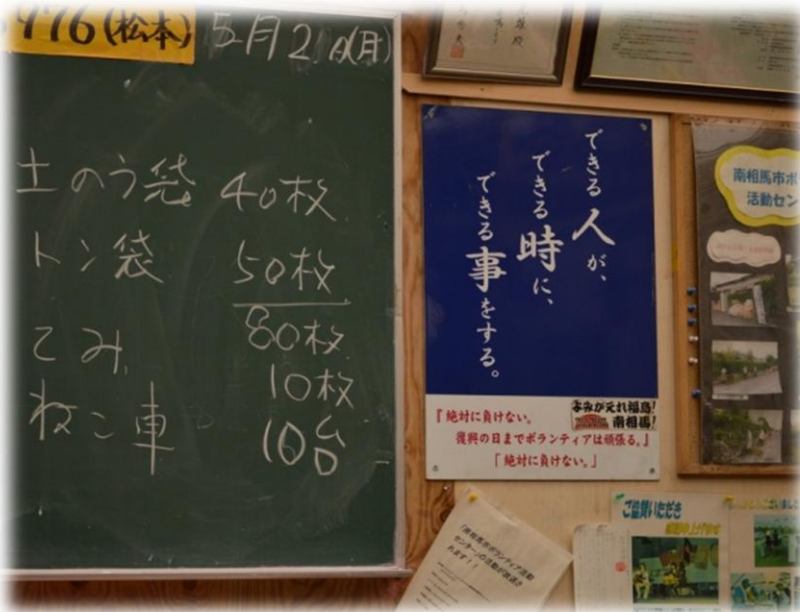


5年間人の住まなかった家の中は、床が抜けそうな場所など危険もあります。気を張りながらの作業です。リーダーの指示でしっかり休憩を入れながら作業をしました。



大きな家具の解体作業です。

現地の方に直接お話を伺っています。



今回お世話になった南相馬市ボランティア活動センターの皆様、ありがとうございました。

写真提供：3年山中一輝（写真部）